

令和8年度 連携型選抜募集要項

福島県立ふたば未来学園高等学校

〒979-0408

福島県双葉郡広野町中央台一丁目6番地3

電話 0240-23-6825

ホームページアドレス

<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>

1 アドミッションポリシー

校訓「自立」「協働」「創造」のもと、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」を目指して、本校で学びたいと強く考える生徒を求める。

【アカデミック系列】

地域や世界で活躍することを目指して自らの志を持って学習に励み、学びを深めるために大学への進学を希望する生徒を募集する。

【トップアスリート系列】

サッカー、バドミントン、野球、レスリングの競技における顕著な実績や高い能力を有し、これらを生かして自らの進路を切り拓くことを希望する生徒を募集する。

【スペシャリスト系列】

農業、工業、商業、福祉のいずれかの分野を学ぶ強い意欲を持ち、将来、地域や社会で活躍することを希望する生徒を募集する。

2 募集定員

全日制の課程・総合学科募集定員（160名）から、福島県立ふたば未来学園中学校の第3学年に在学する者（令和7年11月1日現在）の数を除いた数の30%を下限とする。

3 出願資格

出願資格については、次の(1)、(2)、(3)のいずれかに該当する者とする。

ただし、本校の特色選抜に出願する者は連携型選抜に出願することはできない。

- (1) 令和8年3月に以下の中学校及び義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業見込の者

【連携型選抜の対象となる中学校】

浪江町立なみえ創成中学校

葛尾村立葛尾中学校

双葉町立双葉中学校

大熊町立学び舎ゆめの森

富岡町立富岡中学校

川内村立川内小中学園

楢葉町立楢葉中学校

広野町立広野中学校

- (2) 令和8年3月に中学校を卒業見込の者で、出願時にJFAアカデミー福島に参加している者

- (3) 上記(1)の中学校に在籍している者以外で、東日本大震災が発生した時に、双葉郡内に居住していた者又は双葉郡内に保護者が居住していた者で、令和8年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校若しくは中等教育学校の前期課程を卒業見込又は修了見込の者

- (4) 上記(1)の中学校を卒業する見込の者は、本校の特色選抜へ出願することはできない。

4 併願の取り扱い

志願者は本校に限り、連携型選抜と一般選抜の両方に出願することができる。その場合、一般選抜で出願する系列は、連携型選抜で希望する系列と同じ系列又は異なる系列を希望して出願することができる。ただし、連携型選抜と一般選抜の両方にトップアスリート系列を希望して出願する場合、連携型選抜と一般選抜で異なる種目を選択することはできない。

一般選抜のみを志願する場合は、本校の「令和8年度前期選抜募集要項」に従って出願すること。

5 WEB出願システムの利用

- (1) 出願手続等には、福島県立学校入学選抜WEB出願システム（以下「WEB出願システム」という。）を利用する。

（WEB出願システムによる手続等の詳細は、別に公表するWEB出願システム志願者用マニュアル等による。）

- (2) 県外から志願する者及び県内において学区を越えて志願する者（以下「県外等からの志願者」という。）、中学校卒業者及び卒業見込の者以外の志願者は、「13 出願資格申請」により、本校校長に出願資格を有することの承認を得て志願者基本情報登録を完了させた後に、出願手続を行う。

6 出願に必要な書類

- (1) 中学校卒業者及び卒業見込の者

- ① 令和8年度福島県立高等学校入学志願に関する調査書（以下「調査書」という。様式1号）

地域クラブ活動等の実績を記入する場合、志願者が作成する連携型選抜志願理由書（以下「志願理由書」という。様式2号により本校において作成したもの。連携型選抜の志願者のみが提出する。）と内容に相違がないよう留意すること。

- ② 令和8年度連携型選抜志願理由書（一般選抜のみに出願する志願者については不要とする。）

志願型（トップアスリート型志願者は種目名も）に○を付けるとともに、本校への志願の動機・理由、将来への抱負・進路希望（目標）、将来の目標を実現するために、どのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。

また、運動部・地域クラブ活動等での実績、文化部での実績、生徒会活動・ボランティア活動・各種コンクール等の記録、取得資格等について、具体的かつ正確に記入する。

「記入上の注意」及び「記入例」を参照の上、もれなく記入する。

手書きの原本を複写したものを提出してもかまわない。その際は、志願者氏名及び保護者氏名は直接自署する。

なお、作成にあたっては、両面印刷で作成する。

- ③ 令和8年度一般選抜志願者希望系列及びトップアスリート系列種目調べ（本校作成の様式による。併願も含め一般選抜志願者は全員提出する。）

希望する系列（トップアスリート系列希望者は種目名も）に○を付ける。連携型選抜と一般選抜の両方に出願する場合、連携型選抜で希望した系列と同じ系列又は異なる系列を希望することができるが、トップアスリート系列の異なる種目は希望することはできない。

- ④ J F Aアカデミー福島に参加している者が在籍する中学校長は、志願者がJ F Aアカデミー福島に参加していることを証明する書類（選考結果通知書の写し等）を提出する。

- ⑤ 東日本大震災が発生した時に、双葉郡内に志願者又は保護者が居住していた者が双葉郡以外の中学校に在籍する志願者は、「出願資格申請書」（様式9号）の備考欄に震災発生時点の保護者の住所を記入すること。

7 出 願 手 続

- (1) 中学校卒業者及び卒業見込の者

志願者の在籍（出身）中学校長（以下「中学校長」という。）を通して、本校校長に出願する。

- ① 志願者は、WEB出願システムに志願情報を登録の上、WEB出願システムを介して入学検定料2,200円を納付し、中学校長に出願を申請する。

なお、納付した入学検定料は返還しない。

申請期間は、令和8年1月26日(月)午前9時から令和8年2月5日(木)正午までとする。

- ② 中学校長は、連携型選抜志願理由書等、書面による提出が必要な書類がある場合、提出票(様式5号)を添付し、出願受付期間内に、持参又は送付により本校校長に提出する。

なお、調査書については「9 調査書提出」に定めるところにより提出する。

出願受付期間は、令和8年2月2日(月)午前9時から令和8年2月6日(金)正午までとする。

- (2) 上記(1)以外の者

上記(1)に準じて、志願者が直接、出願手続を行う。

- (3) 本校校長は、次の各号のいずれかに該当すると認めた場合は、出願の受理を取り消すことができる。

- ① 志願情報に虚偽があるとき

- ② 所定の手続を経ないで、他通学区域から出願したとき

- 持参及び送付による書類の提出方法について

【持参の場合】受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時までとする。

ただし、最終日はそれぞれの受付時間の終了時刻までとし、土曜日、日曜日、祝日及び振替休日を除く。

【送付の場合】送付の記録が残る角形3号の封筒(簡易書留460円分の切手を貼付したもの)を用い、それぞれの提出期間最終日の指定された時間までに必着とする。

宛先 福島県立ふたば未来学園高等学校長

住所 〒979-0408

福島県双葉郡広野町中央台一丁目6番地3

8 出 願 先 変 更

出願先変更については「令和8年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に定めるところによる。

出願先変更受付期間は、令和8年2月9日(月)午前9時から令和8年2月13日(金)正午までとする。

9 調 査 書 提 出

中学校長は、調査書提出期間内に、提出票(様式5号)を添付し、持参又は送付により調査書を本校校長に提出する。

調査書提出期間は、令和8年2月16日(月)午前9時から令和8年2月17日(火)午後4時までとする。

10 受 験 票 の 印 刷

志願者は、令和8年2月18日(水)午前9時以降に、WEB出願システムから受験票を印刷する。

なお、受験票の印刷は中学校において代行することができる。

11 出 願 取 消

出願取消については「令和8年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に定めるところによる。

なお、志願者が検査当日以降に出願取消を申し出た場合、中学校長は、速やかに本校校長に連絡した後、手続きを始めること。

出願取消期間は、令和8年2月9日(月)午前9時から令和8年3月13日(金)午前9時までとする。

12 自 己 申 告 書 の 提 出

本校校長に申し出ておいた方がよいと考える事情がある志願者については、本人の希望により、出願に際して本校校長に自己申告書(様式7号)を提出することができる。

なお、志願者の保護者は必要に応じて補足事項を記入してもよい。

提出及び受領は、次の方法により行う。

- (1) 志願者は、自己申告書に必要事項を記入し、厳封の上、本校校長あて親展とし、持参又は送付する。
ただし、送付の場合は提出期間最終日の消印を有効とし、志願者の住所、氏名を記入し、角形3号の返信用封筒（簡易書留460円分の切手を貼付したもの）を同封する。
自己申告書提出期間は、令和8年2月16日(月)午前9時から令和8年2月18日(水)午後4時までとする。
- (2) 自己申告書の提出があった場合、本校校長は、自己申告書受領書（様式8号）を交付する。

13 出願資格申請

県外等からの志願者、中学校卒業者及び卒業見込の者以外の志願者は、申請期間内に持参又は送付により必要な書類を本校校長に提出し、出願資格を有することの承認を得る。

申請期間は、令和7年11月17日(月)午前9時から令和7年12月26日(金)午後4時まで及び令和8年1月5日(月)午前9時から令和8年1月30日(金)午後4時までとする。

(1) 申請方法

① 県外等からの志願者

中学校を経由して、本校校長に連絡の上、次の書類を提出する。

提出の際は、角形3号の返信用封筒（簡易書留460円分の切手を貼付したもの）を同封する。

ア 出願資格申請書（様式9号）

イ 保護者が本校の通学区域に居住することになることを証明する書類

② 中学校卒業者及び卒業見込の者以外の志願者

志願者が直接、本校校長に連絡の上、次の書類を提出する。

提出の際は、角形3号の返信用封筒（簡易書留460円分の切手を貼付したもの）を同封する。

ア 出願資格申請書（様式9号）

イ その他、本校校長が指示する書類

（保護者が本校の通学区域に居住することになることを証明する書類や学校教育における9年の課程の修了を証明する書類等）

※ 「保護者が志願先の高等学校の通学区域に居住することになることを証明する書類」の例

- ・ 市町村長が発行する「住民票の写し」（個人番号の記載がないもの）
- ・ 保護者の勤務先の所属長が発行する「転勤見込証明書」等
- ・ 保護者の居住に関する中学校長等による「事由書」（任意様式）

③ 県内に保護者に代わり志願者を監督、保護する者（以下「身元引受人」という。）が居住する場合においては、県外からの出願を認める。その場合、上記(1)②に代えて身元引受人の「住民票の写し」（個人番号の記載がないもの）を提出する。

④ 出願方法及び出願に必要な書類、身元引受人等について不明な点は、在学（出身）中学校を通して本校に問い合わせる。

(2) 審査結果の通知

本校校長は、申請書等の内容を審査し、中学校長に連絡の上、送付の記録が残る簡易書留等により、「出願資格審査結果通知書」（様式10号）を中学校長を経由して、志願者に通知する。

なお、中学校卒業者及び卒業見込の者以外の志願者の場合は、直接連絡の上、通知する。

また、審査の結果に関わらず、提出した書類等は返還しない。

- (3) 出願資格を有することを承認された志願者は、WEB出願システムに志願者基本情報登録を行う。
- (4) やむを得ない事情により、申請期間内に「出願資格申請」をできなかった者が、出願を希望する場合は、出願受付期間及び出願先変更受付期間に限り、出願資格申請を受け付ける。
- (5) 一度、出願資格を有することを承認された志願者がやむを得ない事情により他の高等学校に出願しようとする場合、あるいは出願先変更をする場合は、(1)～(3)に準じて新たな志願先の高等学校長の承認を得る。

なお、WEB出願システムにおいて既に志願者基本情報登録が済んでいる場合は、(3)は不要とする。

14 選抜方法及び選抜資料

(1) 連携型選抜

以下に示す中学校長から提出された連携型選抜志願理由書、調査書の審査結果、学力検査の成績、連携型面接及び連携型検査の結果（トップアスリート系列を希望する者のみ。）を資料として、本校の特色や学科の特性等に配慮しつつ、志願者の個性や学ぶ意欲を重視し、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定し、合格者を決定する。

ただし、調査書の「出欠の記録」は選抜資料としない。

① 連携型選抜志願理由書

② 調査書

「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍して、195点満点とする。「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。

部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。

③ 学力検査

学力検査を実施する教科は次のとおりとし、検査時間はそれぞれ50分とする。各教科の満点を50点とし、合計250点満点とする。

国語 社会 数学 理科 外国語（英語）

なお、外国語（英語）の検査には、「放送によるテスト」を含む。

④ 連携型面接

個人面接を実施する。面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。

アカデミック系列を希望する者の面接は点数化し、150点満点とする。

トップアスリート系列を希望する者の面接は段階評価とする。

スペシャリスト系列を希望する者の面接は点数化し、150点満点とする。

⑤ 連携型検査

トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技を実施する。

実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。実技は点数化し、500点満点とする。

ただし、JFAアカデミー福島に参加している者は、実技を免除する。

種目及び内容

サッカー	ボールリフティング、パス、コントロール、ゲーム、体力テスト等
バドミントン	ノック、オールショート・ロング、ゲーム等
野球	ベースランニング、ノック、ゲーム形式等 ※ 野球の実技は、ソフトボール1号球を使用する。
レスリング	マット運動、体力テスト等

(2) 一般選抜（連携型選抜と一般選抜の両方に出願し、連携型選抜に不合格となった者）

以下に示す中学校長から提出された調査書の審査結果、学力検査の成績、一般選抜に係る面接（以下「一般面接」という。）の結果、実技の結果（トップアスリート系列を希望する者のみ。）を資料として、本校の特色や学科の特性等に配慮しつつ、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定し、合格者を決定する。

ただし、調査書の「出欠の記録」は選抜資料としない。

なお、一般選抜の志願者と併せて選抜の対象とする。

① 調査書

「各教科の学習の記録」は 195 点満点とし、「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は 55 点満点として、合計 250 点満点とする。部活動や地域クラブ活動等の実績や取組内容などは総合的に評価し、点数化する。

② 学力検査

学力検査を実施する教科は次のとおりとし、検査時間はそれぞれ 50 分とする。各教科の満点を 50 点とし、合計 250 点満点とする。

国語 社会 数学 理科 外国語（英語）

なお、外国語（英語）の検査には、「放送によるテスト」を含む。

③ 一般面接

連携型面接をもって一般面接に代える。

面接については段階評価とする。

④ 実技

トップアスリート系列を希望する者には、種目ごとに実技を実施する。

実技では、各種技能や基本的な身体能力を確認する。競技種目は、連携型検査（実技）と同様とする。

連携型選抜においてトップアスリート系列を希望する併願者については、連携型検査（実技）を一般選抜の実技に代える。

種目及び内容

サッカー	ボールリフティング、パス、コントロール、ゲーム、体力テスト等
バドミントン	ノック、オールショート・ロング、ゲーム等
野球	ベースランニング、ノック、ゲーム形式等 ※ 野球の実技は、ソフトボール 1 号球を使用する。
レスリング	マット運動、体力テスト等

15 学力検査、面接、実技試験の日時、日程、会場及び持参物等

(1) 連携型選抜志願者

① 学力検査

ア) 日 時 令和 8 年 3 月 4 日（水） 午前 8 時 20 分～午後 3 時 10 分

イ) 日 程

8:00 8:20 9:00 9:50 10:10 11:00 11:20 12:10 13:10 14:00 14:20 15:10

受付	連絡	国語	休	数学	休	外国語 (英語)	昼食	理科	休	社会
----	----	----	---	----	---	-------------	----	----	---	----

(20 分) (40 分) (50 分) (20 分) (50 分) (20 分) (50 分) (60 分) (50 分) (20 分) (50 分)

ウ) 集合場所 ふたば未来学園高等学校 南昇降口

(福島県双葉郡広野町中央台一丁目 6 番地 3)

エ) 持 参 物

連携型選抜受験票、上履き、昼食、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、コンパス、定規（ただし、下敷き、分度器（分度器機能を有する定規を含む）は使用できない。）、下足用シューズ袋、腕時計

オ) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書等の電子機器類は持ち込まないこと。

② 連携型面接及び連携型検査

ア) 日 時 令和8年3月5日(木) 午前8時45分～午後4時(予定)
終了時刻は受験生により異なる。

イ) 日 程

8:25 8:45 9:00 11:50(予定) 12:30 12:40 13:00(予定) 16:00(予定)

受付	連絡	連携型面接	昼食	連絡	移動 (着替え)	連携型検査 (実技)
----	----	-------	----	----	-------------	---------------

(20分) (15分)

※ トップアスリート系列以外を希望する者は、連携型面接までで終了になります。

ウ) 集合場所 ふたば未来学園高等学校 南昇降口
(福島県双葉郡広野町中央台一丁目6番地3)

エ) 持参物

連携型・一般選抜受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、上履き、下足用シューズ袋、腕時計、昼食(トップアスリート系列を希望する者のみ)

実技に関する準備物

すべての種目：実技のできる服装、体育館用シューズ及びシューズ袋、タオル	
サッカー	サッカー用スパイク、シンガード、キーパー用グローブ(ポジションがキーパーの者のみ)
バドミントン	ラケット、バドミントンシューズ
野球	グラブ、野球用スパイク、ユニフォーム、バット(中学校時に使用していた物)
レスリング	Tシャツ、短パン、レスリングシューズ(体育館用シューズでも可)

オ) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書等の電子機器類は持ち込まないこと。

16 追検査等の実施

追検査等の実施については「令和8年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に定めるところによる。

(1) 追検査等の日時、日程及び会場は次のとおりとする。

① 日 時 令和8年3月10日(火) 午前8時20分～午後4時55分(予定)
終了時刻は受験生により異なる。

② 日 程

8:00 8:20 9:00 9:50 10:05 10:55 11:10 12:00 12:50 13:40 13:55 14:45 15:00 16:55(予定)

受付	連絡	国語	休	数学	休	外国語 (英語)	昼食	理科	休	社会	休	面接 実技等
----	----	----	---	----	---	-------------	----	----	---	----	---	-----------

(20分) (40分) (50分) (15分) (50分) (15分) (50分) (50分) (50分) (15分) (50分) (15分)

- ③ 集合場所 ふたば未来学園高等学校 南昇降口
(福島県双葉郡広野町中央台一丁目6番地3)

④ 外国語(英語)の検査には、「放送によるテスト」を含む。

⑤ 非常災害による交通遮断等が追検査当日まで及ぶ場合は、追検査等の日時を別に設定する。

17 選 抜 結 果 発 表

WEB出願システムにより、選抜結果(合格・不合格・出願取消、合格した選抜)の発表を行う。

選抜結果発表期間は、令和8年3月16日(月)午後1時から令和8年3月24日(火)午後5時までとする。

- (1) 本校校長は、令和8年3月16日(月)正午までに、WEB出願システムに選抜結果を登録する。
- (2) 選抜結果発表期間の初日は、選抜結果発表後、WEB出願システムを利用できない志願者への配慮として、合格者一覧を本校南昇降口に当日のみ掲示する。
- (3) 合格者に対して合格通知書(様式13号)を本校で交付するので、受験票を持参し、来校すること。
- (4) 本校校長は、提出書類等の記載内容に事実と相違している点が認められたときは、合格を取り消すことができる。

18 学 力 検 査 結 果 の 提 供

連携型選抜の学力検査(追検査を含む。)受験者に対し、WEB出願システムにより、本人の各教科の得点と5教科の合計得点の情報(以下「学力検査結果」という。)を提供する。

学力検査結果提供期間は、令和8年3月16日(月)午後2時から令和8年3月24日(火)午後5時までとする。

なお、対面、電話、はがき等による請求は受け付けない。

19 そ の 他

- (1) 選抜の一部が未完了となった者の取扱い

選抜の一部が未完了となった者の取扱いは次のとおりとする。

なお、インフルエンザ等感染症罹患及び体調不良等により別室で受験をした者で、選抜の一部が未完了となった者も含む。

① 追検査等の対象となる志願者

「一部未完了となった選抜の意思連絡書」(様式14号)を令和8年3月6日(金)午後4時までに本校校長へ提出する。その場合、在学(出身)中学校長は、事前に本校校長に連絡する。「一部未完了となった選抜の意思連絡書」を受けた本校校長は、「一部未完了となった選抜の意思連絡書受領書」(様式15号)を交付する。

なお、「一部未完了となった選抜の意思連絡書」において、追検査等の受験を希望した場合の手続きについては、この要項に示した「16 追検査等の実施」に定めるところによる。「一部未完了となった選抜の意思連絡書」において、追検査等の受験を希望しない場合は受験した内容のみで合否判定を行う。

② 追検査等の対象とならない志願者

受験した内容のみで合否判定を行う。

※ 書類の提出及び交付は、原則として対面とする。

- (2) 連携型選抜で不合格となった者についての取扱い

連携型選抜で不合格となった者が、後期選抜に出願するときは、新たに出願書類を提出する。

- (3) 入学辞退の手続き

合格者のうち、入学を辞退する者は、入学辞退届(様式16号)を在学(出身)中学校長を通して本校校長に提出する。

ただし、中学校卒業者及び卒業見込の者以外の者については、直接、本校校長に提出する。

なお、納付した入学検定料及び高等学校に提出した書類等は返還しない。

- (4) 本要項に記載されていないことについては、「令和8年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に定めるところによる。
- (5) 本校の寮への入寮を希望する場合は、他の出願書類とあわせて入寮申込書を本校校長に提出する。

○ 本校の各系列について

本校では、生徒の興味・関心や進路希望に応じて、以下の3つの系列の各科目群より科目選択できるよう、1年次から系列毎に教育課程を編成しているため、入学後の系列変更はできません。各系列の特色を理解して志願してください。

アカデミック系列

地域や世界でリーダーシップを発揮し活躍できる資質・能力・態度を身に付け、進学後も学びを深め続ける生徒の育成を目指して、国語・地理歴史・公民・数学・理科・英語・情報の専門的な授業を展開し、解決困難な社会課題に挑戦するために必要な高い学力を育成する教育活動を行う系列です。

トップアスリート系列

スポーツの知識や技術を身に付け、トップアスリートまたは生涯スポーツの担い手としてリーダーシップを発揮し活躍できる生徒の育成を目指して、サッカー・バドミントン・野球・レスリングの専門的な授業を展開し、部活動との連動も図りながら、トップアスリートに必要な技術や態度を育成する教育活動を行う系列です。

スペシャリスト系列

職業分野における専門的な知識と技能を身に付け、地域を支える職業人としてリーダーシップを発揮し活躍できる生徒の育成を目指して、農業・工業・商業・福祉の専門的な授業を展開し、地域社会に山積する課題を解決するスペシャリストに必要な確かな知識と技能を育成する教育活動を行う系列です。

※ トップアスリート系列についての補足事項

- (1) 各競技種目の高い技術・理論の習得を目指しており、授業と部活動を連動させた取組を通して、本校卒業後の進学先や就職先において、専門の競技種目や生涯スポーツ分野で取り組む強い意志のある生徒を求めています。このため、入学後は、出願時に希望した競技種目の部活動に参加することになります。（JFAアカデミー福島に参加する生徒は、本校で学びながらJFAアカデミー福島の活動に参加することとなります。）
- (2) トップアスリート系列の部活動は、上記(1)の理由から、出願時にトップアスリート系列を希望して合格を認められた生徒のみ入部を認めており、原則、他系列の生徒が入部することはできません。

ただし、女子サッカー部、レスリング部については、中学校における競技人口等、競技種目の特性から、入学後、トップアスリート系列以外の生徒の入部も認める場合があります。